

もくじ

- ・ おぶさりてえ

おぶさりてえ

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： かわの まほ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

むかし むかし、あるところに、
たろう、じろう、さぶろう という、
さんにんの きょうだいが くらしていました。

あるひ、ちょうなんの たろうが、
となりむらに かいものに でかけました。

かいものをおえた たろうが、かえりの
やまみちに さしかかったときです。

「ん、なんだ・・・なんだか、
きみょうな けはいを かんじるな・・・」

あたりは、もうすっかり くらくなっていました。

じつは このやまみちには、
おそろしい ばけものがでるという
うわさばなしが あったのです。



とつぜん、たろうの すぐうしろから、
ぶきみなこえが きこえてきました。

『おぶさりてえ・・・おぶさりてえ・・・』

ゆっくりと ふりかえった たろうは、
おどろいて ひめいをあげてしまいました。

なんと そこには、ひとと おなじほどの
おおきさの、ぼんやりとひかる なぞのたまが、
ふわふわと うかんでいたのです。

『おぶさりてえ・・・おぶさりてえ・・・』

「ぎゃー！ で、でたー！！」

たろうは ひっしに はしって、
じぶんのいえまで にげかえりました。

